



あいち 平和行進 2022 5/31-6/11



2022年6月10日 (No.10)

発行：あいち平和行進共同連絡会
連絡先：愛知県原水協 052-932-3219
FAX:052-931-2651
mail: gensuikyo@lime.ocn.ne.jp

最新情報はWebで

あいち平和行進 検索 peacemrch.peace-aichi.net



ツイッター

twitter.com/aichi_P_march

6月9日
まとめ
木

津島市役所→愛西市役所
→稲沢市役所→蟹江町役場
名古屋市役所前→名古屋市へ要請
→愛知県へ要請

- ◆参加者 のべ150人 ◆折り鶴 32,050羽
- ◆募金 23,301円 ◆ペナント 49本
- ◆自治体からのペナント 20本 (本日までの累計)
- ◆自治体からの協賛金 46,000円 (本日までの累計)

非核都市銀座 首長、議長とともに行く 尾張南部の平和行進

●津島市役所

津島

- ◆参加者 のべ45人 ◆折り鶴 1,500羽
- ◆募金 11,171円 ◆ペナント 13本



津島市は、市役所の正門まで市長、議長が平和行進に参加。集会前には平和の歌を歌いました。日比市長は「65年間続けてきたみなさんの平和の願いが世界に発信されることは素

晴らしい。ロシアの戦争に影響を与える。みなさんとの思いは同じだ」と激励。また安井議長から「まさか戦争が起これると思いませんでした。政治家が一番やらないといけないのは市民の命を守ること」と平和行進へ連帯のエール。地元実行委員会の杉山さんは、「私たちの運動は、核兵器禁止条約を発効に結びつけ、核を違法化し、世界を前進させた。次は政府に批准させよう」と挨拶しました。集会後、お散歩行進を津島駅前の交差点まで行い、スタンディングで市民にアピールしました。



●愛西市

愛西

- ◆参加者 のべ30人 ◆折り鶴 4,550羽
- ◆募金 5,180円 ◆ペナント 9本

愛西市は、市役所となりの文化会館で集会。市から18人全議員に署名を呼びかけ、世界大会14人、核禁条約批准署名9人が応じています。企画政策課の西川部長より「平和行進を続けることにより、広島長崎の悲劇が再び起こらないよう願います」とのメッセージが代読されました。地元原水協代表の浜崎さんは「条約批准の政府をつくりたい」「軍事費増加では平和は作れないことを市民に伝えた」と挨拶しました。



●稲沢市役所

稲沢

◆参加者 のべ75人 ◆折り鶴 26,000羽
◆募金 6,950円 ◆ペナント 23本

稲沢市では市庁舎玄関で集会。集会に先立ち、コーラスかえるが平和のうたごえを響かせました。事前に呼びかけられた折り鶴が次々と集まりその数、26,000羽にのぼります。市も、福祉施設などに呼びかけ、2,000羽集まりました。

市長は、核の惨状を後世に伝えていくことは政府のやること」と激励。議長は、「憲法の平和主義の理念を市民の生活の中に活かすことが地方自治の役割」と話しました。新婦人の方からは、「子どもの命を守ることは政治の責任です」と軍事強化では平和は守れないと訴えました。

最後に市庁舎前からスタンディングでアピールしました。



●蟹江町長、議長と懇談

蟹江

◆ペナント 4本

2013年度に観光大使として始まった沖縄平和学習に、「沖縄の戦争の歴史を見て、聞いて、感じてきてほしい」——町長、議長との懇談という形で行われた蟹江町平和行進の自治体訪問で、対応した横江町長が平和を熱く語りました。「子どもらが学習して、『戦争はしてはいけない』と思うことが抑止力になる」とも。地元から板倉町議ら2人も参加して、議員14名中5人から寄せられた「批准を求める署名」や、町長、議長からのペナントなどを受け取りました。



●名古屋市役所前集会を開催



津田康裕名古屋市長、林達也愛労連副議長、岡田ゆき子共産党議員からあいさつ。あいち平和行進9日目！取り組みとしては大詰めです。名古屋市役所(駐車場)前での集会での訴えの一番手はことしも津田康裕名古屋市長、続いて、林達也愛労連副議長(自治労連県本部委員長)、岡田ゆき子名古屋市議員(日本共産党)からご挨拶と訴えをいただきました。津田さんは、行進団への激励を述べながら、ウクライナ問題で戦争をただちにやめるべきだと強調し、国の現予算を倍化するともいわれる軍事費、お金の使い方に対する批判をしました。林さんからは、5月31日から愛知入りした行進団の取り組みを紹介するとともに、核兵器の廃絶、戦争やめよの声をいっそう強めていくことを強調しました。

●名古屋市・市議会と懇談・要請

原爆と人間パネルの購入(2017年)に続き、広島市立基町高校の在校生による「原爆の絵」をパネル化し活用する努力がされていることが報告されました。しかしながら、1963年に決議された「平和都市宣言」の理念にもとづき、行政運営をしているとはいうものの、河村名古屋市長、名古屋市議会議長ともに、禁止条約賛同署名は拒否、自治体意見書決議も議会の合意がないため拒否などの対応に終始しました。

●愛知県・県議会と懇談・要請

小中学校生を対象に作成した「平和学習用」パンフレットの活用を、すべての小中学校の対象におこなっていることが報告されました。しかしながら、名古屋市と同様に、「平和県宣言」(1963年県議会決議)の精神で行政運営を行っているとは言えるものの、「核兵器禁止条約をめぐっては、昨今の国際情勢などを踏まえた国の考え方」があるため、批准の働きかけは慎重な対応が必要と述べ、日ごろ大村知事自身が県独自の立場・態度を表明するが、この点では地方自治体の本旨をわきに置く態度の表明となりました。

本日のコース

9:00 10:00 12:00
岩倉市役所→千秋病院→一宮市役所
14:00 15:30
葵公園→江南市役所→大口町役場